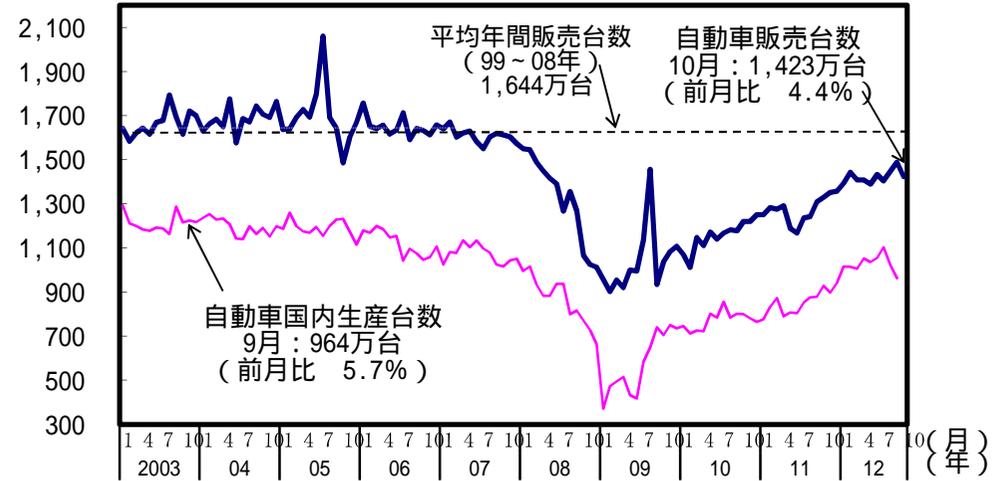


# 1. アメリカ

アメリカでは、景気は弱めの回復テンポが続いているが、このところ底堅さもみられる。先行きについては、緩やかな回復傾向で推移すると見込まれる。ただし、いわゆる「財政の崖」を含む財政緊縮の影響や雇用環境の改善の遅れ等により、景気が下振れするリスクがある。

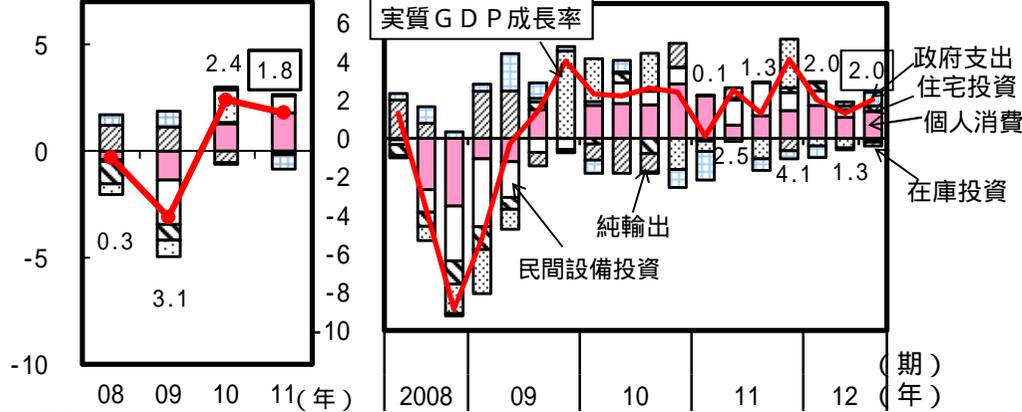
## 自動車販売台数はおおむね横ばい

(年率、万台)



(備考) アメリカ商務省、連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

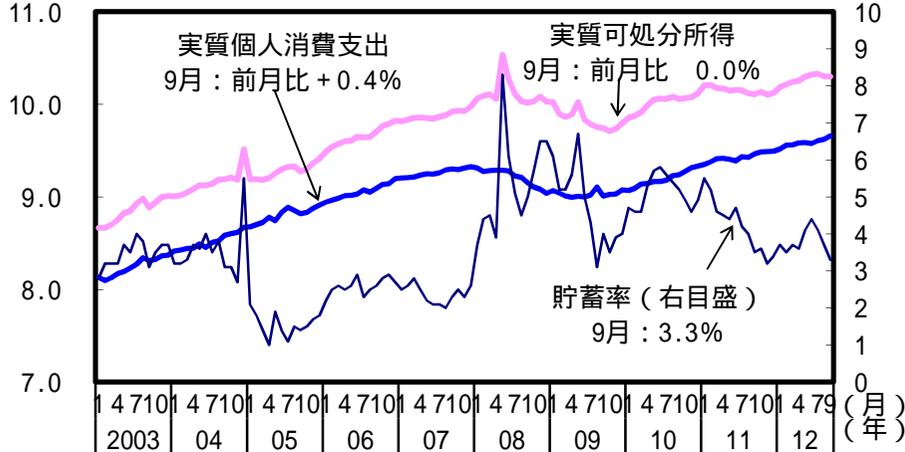
実質GDP成長率 (1次推計値)  
2012年7~9月期は前期比年率2.0%成長  
(前年比、%) (前期比年率、%)



(備考) 1. アメリカ商務省より作成。  
2. 2012年7~9月期の寄与度 (%) は以下のとおり。個人消費: 1.4、民間設備投資: 4.5  
0.1、住宅投資: 0.3、在庫投資: 0.1、政府支出: 0.7、純輸出: 0.2。

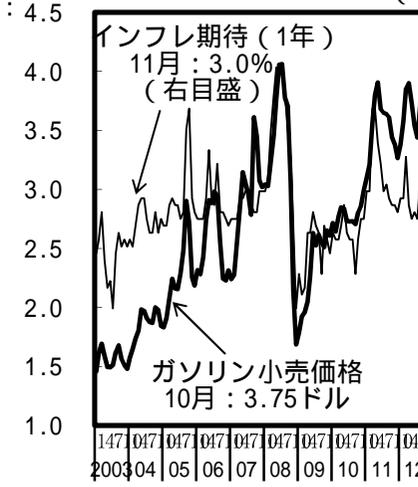
## 消費者信頼感指数は持ち直し

(兆ドル) 消費は緩やかに持ち直し (%)

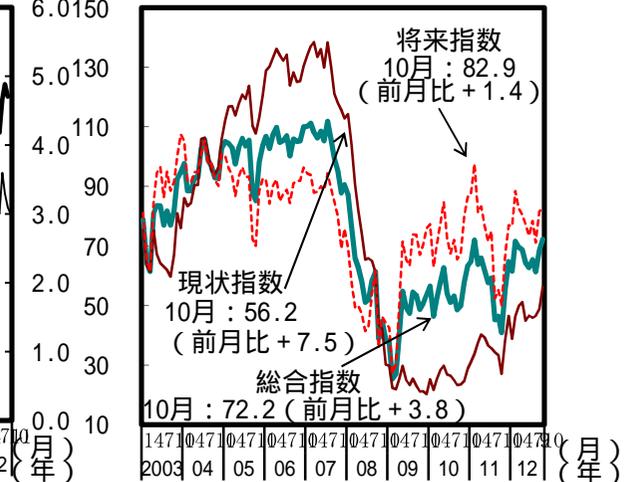


(備考) アメリカ商務省より作成。

(ドル/ガロン)

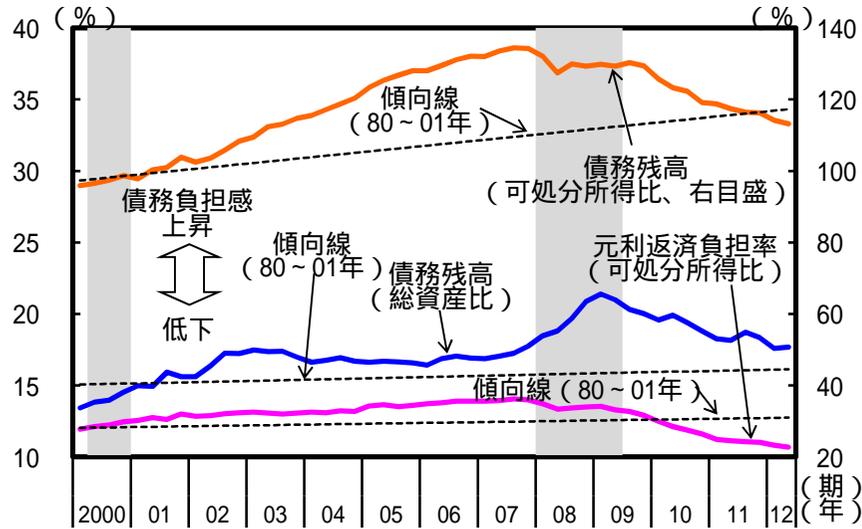


(%) (1985年 = 100)



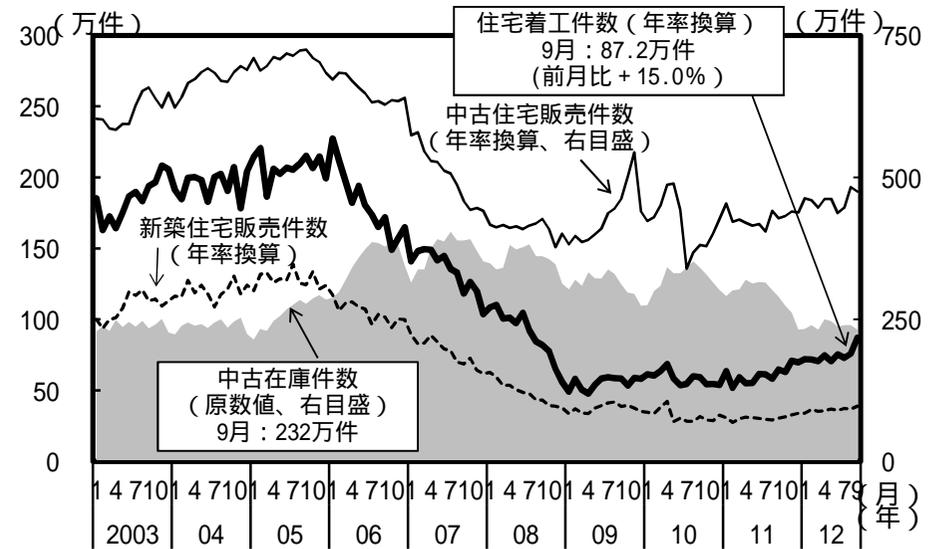
(備考) 1. コンファレンス・ボード、アメリカ・エネルギー省、ミシガン大学より作成。  
2. 将来指数は6か月後の見通し。ガソリン小売価格は月平均価格。インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。

### 家計のバランスシート調整は継続



- (備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。  
 2. 網掛け部分は景気後退期を指す。  
 3. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

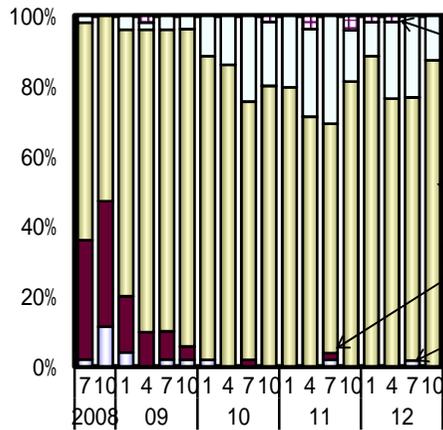
### 住宅着工は低水準にあるものの、持ち直しの動き



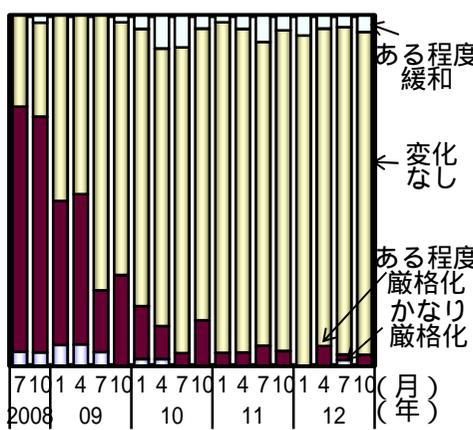
- (備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。  
 2. 12年9月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.9ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(7月末)は5.8ヵ月分に相当。

### 金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

(1) 消費者向けローン

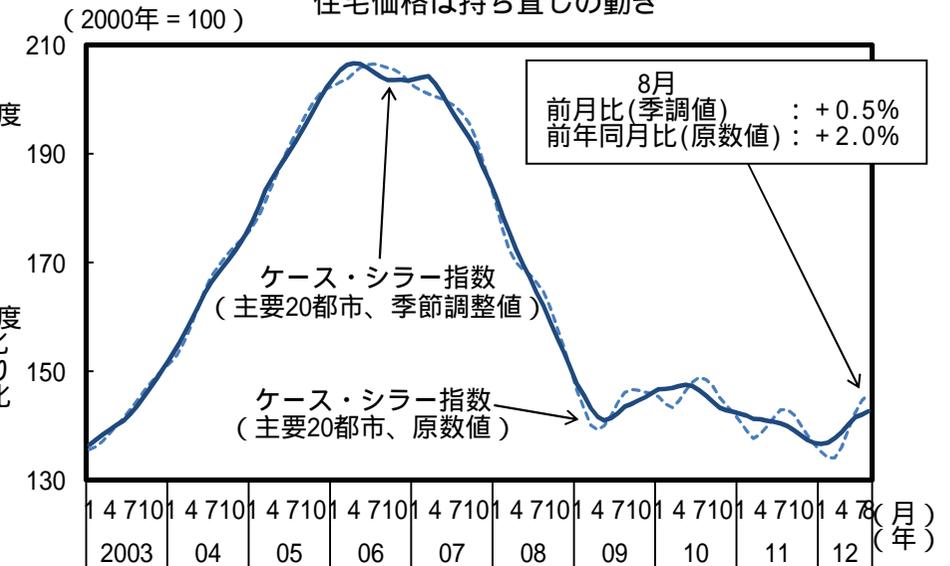


(2) 住宅ローン(プライム)



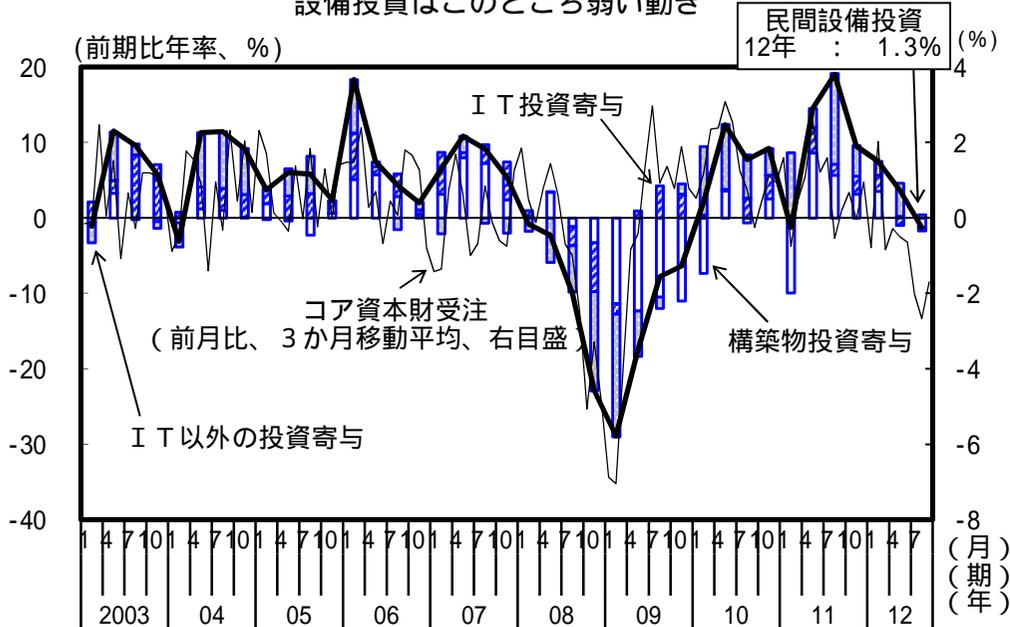
- (備考) 1. 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。  
 2. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。  
 3. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

### 住宅価格は持ち直しの動き



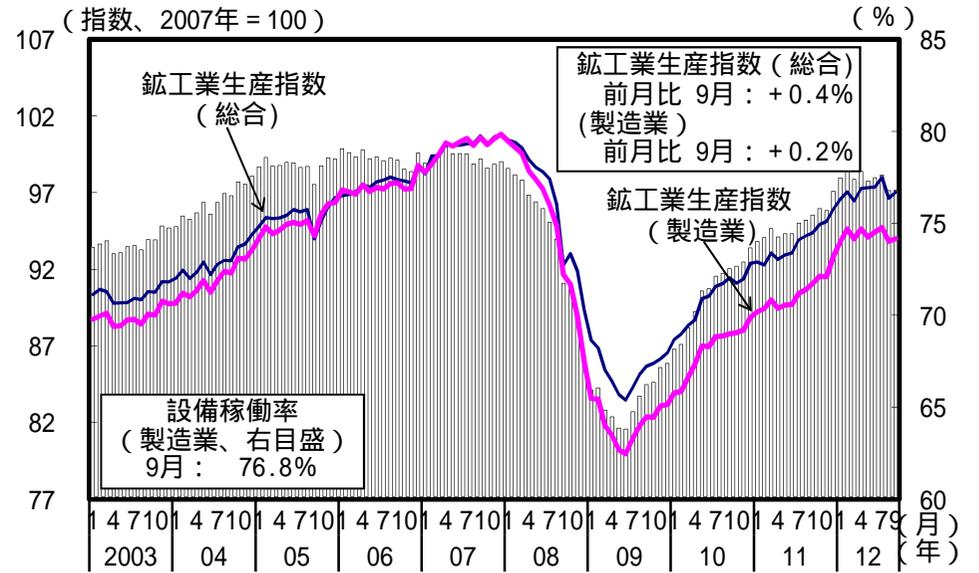
- (備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

設備投資はこのところ弱い動き



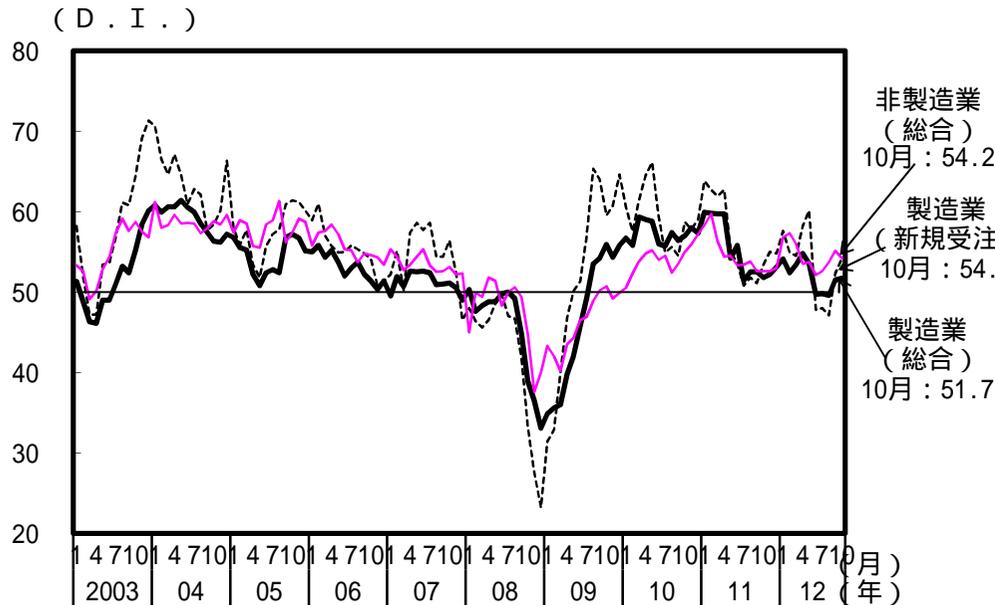
(備考) アメリカ商務省より作成。

生産はこのところ横ばい



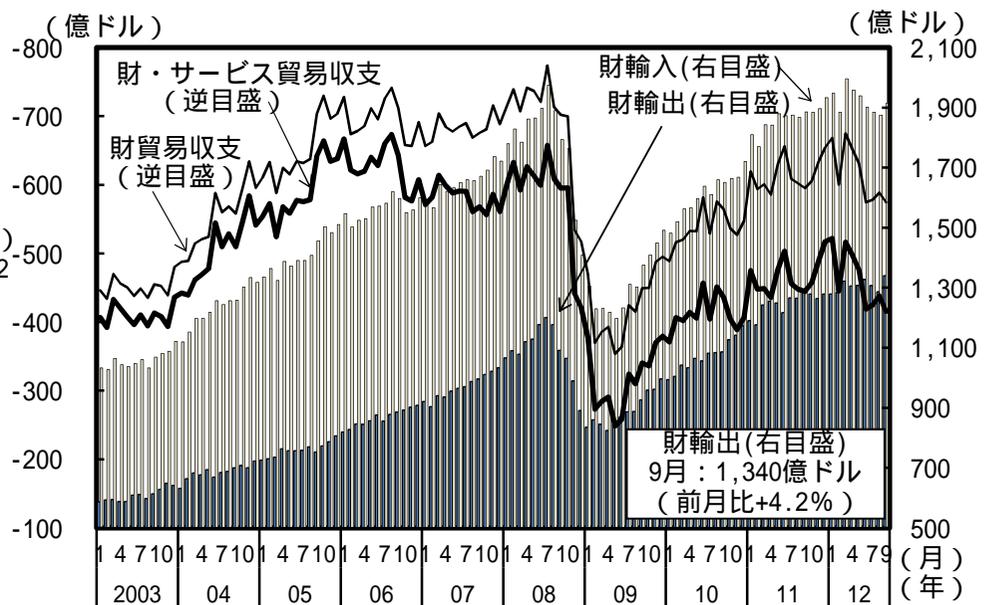
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

景況指数はおおむね横ばい



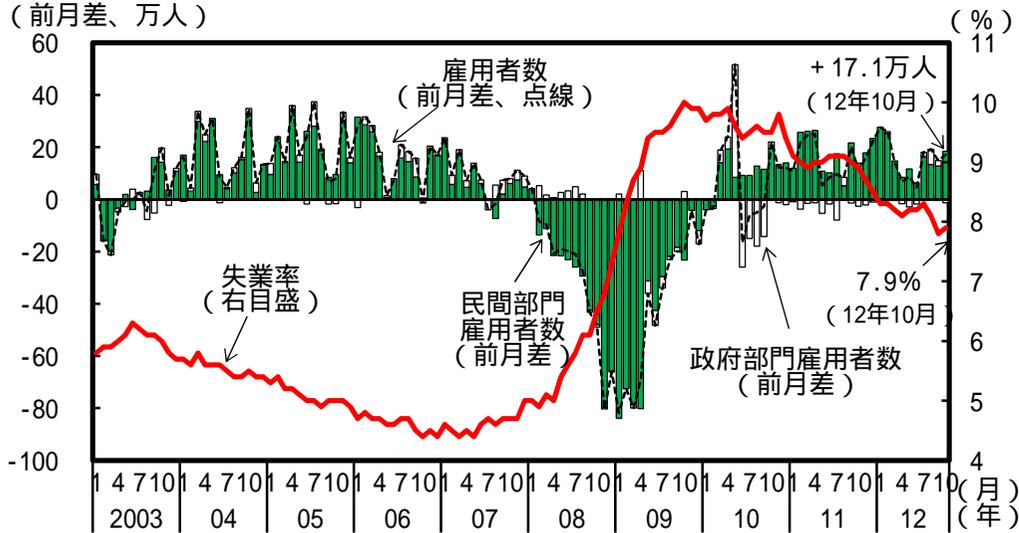
(備考) 全米供給管理協会 (ISM) より作成。

財輸出はおおむね横ばい



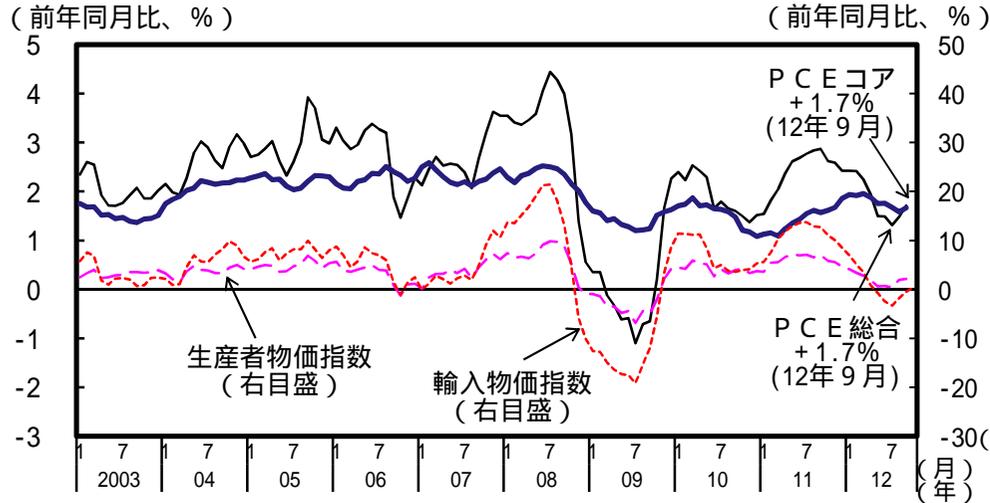
(備考) アメリカ商務省より作成。

### 雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向



(備考) 1. アメリカ労働省より作成。雇用者数は非農業部門。  
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +443.6万人。

### コア物価上昇率は安定



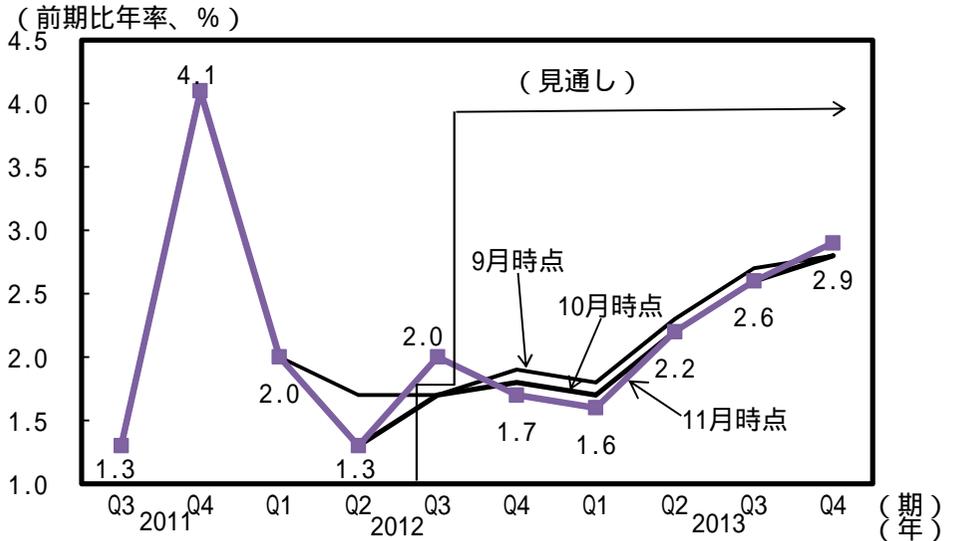
(備考) 1. アメリカ労働省、商務省より作成。  
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数である。

### 主要機関等による実質経済成長率の見通し

		(前年比、%)	
		12年	13年
ブルーチップ (民間見通し平均) (12年11月10日)	上位10社	2.2 (2.3)	2.4 (2.6)
	平均	2.2 (2.1)	2.0 (2.0)
	下位10社	2.1 (2.1)	1.5 (1.4)

		(前年比、%)	
		12年	13年
OECD (12年5月22日)		2.4	2.6
IMF (12年10月9日)		2.2	2.1
行政管理予算局 (OMB) (12年7月27日)		2.3	2.7
議会予算局 (CBO) (12年8月22日)		2.1	0.3
連邦公開市場委員会 (FOMC) (12年9月13日)		1.7～2.0 (10～12月期の前年同期比)	2.5～3.0 (同左)

### ブルーチップ 11月



(備考) 1. ブルーチップ・インディケータ (12年11月10号、10月10日号、9月10日号)、OECD “Economic Outlook 91” (12年5月22日)、IMF “World Economic Outlook” (12年10月9日)、アメリカ行政管理予算局 (12年7月27日)、アメリカ議会予算局 (12年8月22日)、連邦公開市場委員会 (12年9月13日) より作成。  
2. ブルーチップのカッコ内は、12年10月10日時点の見通し。